

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公開番号】特開2016-172175(P2016-172175A)
 【公開日】平成28年9月29日(2016.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報2016-057
 【出願番号】特願2016-135022(P2016-135022)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月31日(2016.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
 前記遊技制御手段から送信されるコマンドに基づき、演出用の乱数を用いて演出内容を決定し、演出手段にて演出を行う演出制御手段と、を備えた遊技機において、
 前記演出制御手段は、
 シード値に基づく発生系列に従って前記演出用の乱数を生成する乱数生成手段と、
 起動時に、前記演出用の乱数として取り得る範囲よりも狭い範囲のうちの何れかの値を前記シード値として設定するシード値設定手段と、を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の発明は、
 遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
 前記遊技制御手段から送信されるコマンドに基づき、演出用の乱数を用いて演出内容を決定し、演出手段にて演出を行う演出制御手段と、を備えた遊技機において、
 前記演出制御手段は、
 シード値に基づく発生系列に従って前記演出用の乱数を生成する乱数生成手段と、
 起動時に、前記演出用の乱数として取り得る範囲よりも狭い範囲のうちの何れかの値を前記シード値として設定するシード値設定手段と、を備えたことを特徴とする。